

～新潟県拠点情報かわら版～

お知らせ

北陸農政局新潟県拠点では、「現場と農政を結ぶ」業務を通じて、地域の皆様にタイムリーに農政に関する情報をお伝えするとともに、農業現場の抱える課題や農政に対する意見をきめ細かに汲み上げ、各種施策につなげていくこととしていきます。

地域の農業者（地域の担い手や若手農業者、女性農業者など）の方の集まり等で、「農業施策の〇〇について聞きたい。」といった御要望がございましたら、直接伺って御説明いたします。

御遠慮なく、お気軽に下記へ御連絡ください。

新着情報

令和3年3月19日

○ 『農村プロデューサー』養成講座を開講します

農村地域では、都道府県・市町村の職員が減少する中で、地域が抱える課題が十分に把握されていないこと等により、地域に寄り添う人材の必要性が増大しています。このため、農林水産省では、今般、地域への愛着と共感を持ち、地域住民の思いを汲み取りながら、地域の将来像やそこで暮らす人々の希望の実現に向けてサポートする人材を「農村プロデューサー」として育成するため、『農村プロデューサー養成講座～地域に消えない火を灯せ～』を開講することとし、専用webサイトを開設しました。



詳細は専用Webサイトを御確認ください→<https://www.maff.go.jp/j/nousin/course/index.html>

連絡先

北陸農政局新潟県拠点地方参事官室

〒951-8035 新潟市中央区船場町2-3435-1

TEL 025-228-5216 FAX 025-223-2264

あふてらす
農林漁業はじめるサイト

「あふてらす」は、農業・林業・漁業、その加工・販売に興味がある方、これからはじめたい方向けの情報を発信しています。



○北陸農業の未来を考える「たがやすラボ」を立ち上げました

北陸農政局では、農業・農村を支える人や組織、応援する関係者等とのネットワークを構築し、地域が抱える課題とその解決策の共有を図り、北陸の農業・農村が発展していくためのプラットフォーム『たがやすラボ』を立ち上げました。

令和3年3月29日(月)に金沢広坂合同庁舎において、そのキックオフイベントを開催し、課題解決のために必要なことについて現場で実際に取り組んでいる関係者の方々と活発な意見交換が行われました。

今後は、SNS等を活用した双方向の交流、先進地視察の実施等の取組を行っていく予定であり、地域を担う次世代の後継者を育成するとともに、農業農村の関係人口増加を目指していきます。

キックオフイベント開催

北陸農業の未来を考える

たがやすラボ

オンライン
視聴可能

日時 3/29 (月) 13:00~16:25

会場 金沢広坂合同庁舎 1階
共用大会議室

講師 & 事例発表

基調講演

講師：指出 一正 氏

わたしたちは農村地域で未来を見つける ～関係人口のつくり方～

事例紹介

① 富山県南砺市 利賀地域での連携した取組

(一社) moribio 森の暮らし研究所 代表理事 江尻 美佐子 氏
南砺市商工会利賀村事務所 所長 齊藤 嘉久 氏、須河 紗也子 氏

② 福井県小浜市 宮川地域の“むらづくり”

(一社) 宮川グリーンネットワーク 代表理事 竹中 忠 氏
(株) 若狭の恵 取締役 清水 正彦 氏



指出 一正 氏
・ソトコト編集長
・農林水産省新しい農村政策の
在り方に関する検討会委員

詳細は

たがやすラボ

🔍 検索



又は

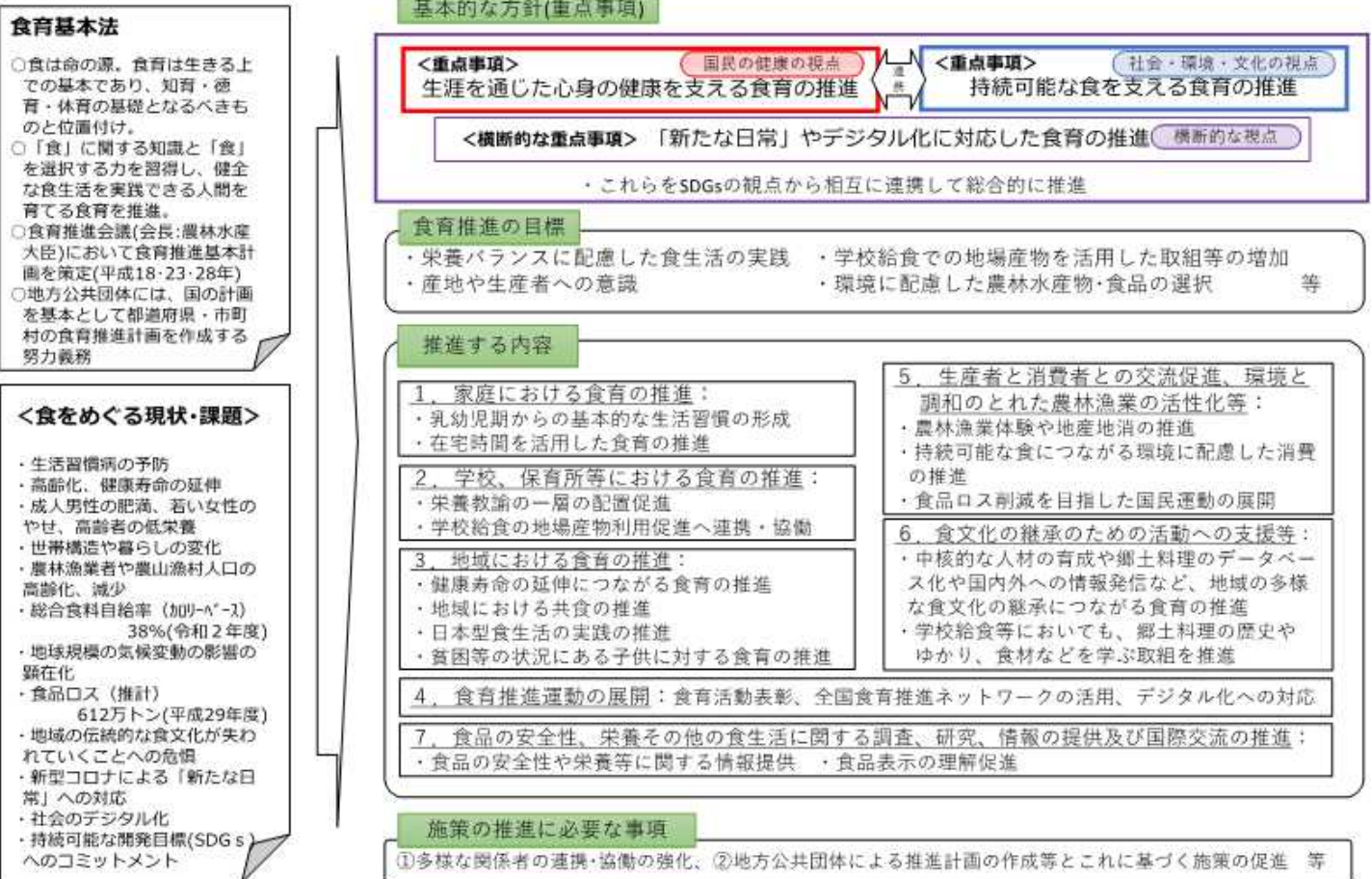
<https://www.maff.go.jp/hokuriku/news/press/210316.html>

○新たな「食育推進基本計画」の公表について

令和3年3月31日、「第4次食育推進基本計画」が食育推進会議で決定されました。国民の健康や食を取り巻く環境の変化、社会のデジタル化など、食育をめぐる状況を踏まえ、第4次食育推進基本計画では、基本的な方針として以下の3つを重点事項とし、総合的に推進します。

また、計画期間を令和3年度からおおむね5年間として、食育を国民運動として推進するための定量的な目標を掲げています。

第4次食育推進基本計画（令和3～7年度）の概要



詳細は

第4次食育推進基本計画

検索

又は

https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/210331_35.html



感染リスクが高まる「5つの場面」に注意し、 感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫を!

感染リスクが高まる「5つの場面」に注意しよう!

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の中中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



~~大声・大人数・長時間~~



感染リスクが高まる「5つの場面」 URL
<https://corona.go.jp/proposal/>
 ← 詳しくはこちら!! (内閣官房HP)

感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫を実践しよう!

- 飲酒をするなら、①少人数・短時間で
 ②なるべく普段一緒にいる人と
 ③適度な酒量で 楽しもう!

- 会話する時はマスク着用!
- 箸やコップは使い回さない!
- 席は斜めに座ろう!
- ガイドラインを守る店を選ぼう!



- 体調が悪い人は参加しない!

農林水産省

詳細は
又は

「新型コロナに関する「5つの場面」

検索

https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/5scenes.html

